

(3) 質疑応答

項	質 問	回 答
1	正面入口の車両が混雑しているが、工事期間中の駐車場の確保はどうするのか。	工事期間中は、救命救急センター地下駐車場が通常通り利用できる。その他、周辺の駐車場は今までどおり確保する予定である。誘導員を配置し、振り分けを行いながら混雑緩和を図っていく。
2	計画では、路線バスが乗り入れできるようになっているが、本数が少ないので、駐車場を確保した方が良いのではないのか。	現段階では、バスが乗り入れ可能な計画としており、バス会社と協議中である。敷地内の駐車場については、現在より50台程度増える予定である。
3	ヘリコプターの騒音が85dB程度とのことだが、現状でも電話での声が聞こえない状況である。今後、位置が変わると余計にうるさくなるのではないのか。	ヘリコプターの飛来は、年間に16～18台程度であり、月に1～2回の頻度となる。新病院では、発着場所が高くなるため、影響は現状とあまり変わらないものと考えている。できる限り影響が低減できるように工夫していくが、ご理解いただきたい。 なお、騒音については、今後、よく調査して再度説明する。
4	病院敷地の南側に住んでいる。工事期間中の騒音が心配である。日曜日の工事は実施するのか。	工事施工業者の決定後に詳細を説明させてもらうが、現時点の想定では、できる限り低騒音の重機を利用したり、防音パネル等を用いて騒音を低減していく。 日曜日は基本的に休みとするが、工事の進捗により実施せざるを得ない場合は、その都度近隣にお知らせしていく。
5	新病院の施設整備方針で、運営しながらとのことだが、工事期間中の外来、入院患者さんに十分対応していけるのか。	建替については、南棟を解体して50床程度減床となるが、東棟および新棟で一部を吸収し、工事期間中は、全体で30床程度減の見込みである。新南棟の開院まで、問題なく運営できると考えている。
6	放射線の陽子線治療は出来ているのか。難しい治療はやらないのか。筑波の病院まで行かないとできない状態である。	陽子線治療は出来ていない。放射線の治療については、通常の保険診療の範囲で行っている。ご意見として承りたい。
7	ヘリポートの騒音について、影響範囲を詳細に調べて、影響住宅を二重窓にするなどの対応が必要ではないのか。	近隣住宅の二重窓等の対策については、今後、騒音調査と合わせて検討する。
8	工事中のガードマンについて、東南側に配置をお願いしたい。	了解した。
9	気流シミュレーションについては、平常時ではなく、台風等の突風時を想定してほしい。	再度シミュレーションを行う。
10	河辺下に住むが、騒音が心配だが、杭を打つのか。	杭は打たない。
11	地下はどのくらい掘るのか。振動はあるのか。	現在の南棟の地下1階と同じレベルまで掘る設計をしている。 近隣の建物に影響がないように山留め工事を行う。山留めは20m程度の杭を入れるが、その際に近隣の家屋調査を行い、影響を調査の上、ご説明していく。詳細は工事施工業者と今後よく調整する。
12	風の動きについては、最近の異常気象を考慮して、シミュレーションしてほしい。	了解した。再度検証を行う。
13	素晴らしい建替え計画であるが、患者の受け入れを断らないでほしい。	基本的には、断らない受け入れを行っている。しかし、ベッドが満床状態や手術室が埋まっている場合等があり、完全に100%受け入れができない場合があることをご理解いただきたい。
14	救急のことだが、私の親族が断られた。	個別の話であるため、別途話を伺うことでお願いしたい。
15	建替計画では、青梅市からの財政負担はどの程度なのか。	総予算は275億円であり、内250億円余を借入れる予定である。 現在の市からの負担金は、経常的に年7億円程度で、工事が始まると今後多くても年間10億円程度で考えている。 総額については別途お答えしたい。→(建設に伴い増額となる額の総額は、50～60億円程度と想定している)

(3) 質疑応答

項	質問	回答
16	病院からの景色は絶景であるが、屋上を市民に開放する予定はないのか。	新病院でも4階に屋上庭園を設け、開放する予定である。屋上はヘリポートのため開放する考えはない。
17	災害時のライフライン確保が3日間程度とのことだが、災害拠点病院で3日間で大丈夫なのか。	新病院では、2系統の電源供給の他に、非常用電源と最低3日間程度の燃料を保持する計画である。水道等についても同様であり、設備の都合上3日間程度の燃料や備蓄品の確保が限界である。その後は、周りからの支援により病院機能を継続していく計画である。
18	駐車場が広いが、下水の貯水槽などを予定していないのか。	現在の西棟の地下1階ピットを下水貯留槽に改修して確保する予定である。
19	南側からの日当たりが強いが、省エネに配慮した設計になっているのか。	現在の新棟は、形状が変えられないため幌を設置しているが、新南棟は全体的にバルコニーが庇の役目となり、ローイーガラス（熱を吸収するガラス）や複層ガラスを採用して省エネに配慮する。
20	7月にも質問があったが、配置計画の中で、病院南側市道23号線の多摩川沿いの道路は、カーブミラー等があるが道が狭く見通しが悪い。計画ではタンクローリーの寄付きとなっている。見通しが効くように改善願いたい。	7月の説明会で頂いた話なので、注意して設計している。高い木を少なくし、見通しが良い植栽計画としている。タンクローリーの寄付きは、安全性を考慮した運用の調整を行っていく。
21	7月の説明会の設計図では、救急車入口が家の前だったため、変更を申し入れた。今回、関係者の皆様のご配慮によって、変更いただきありがとうございました。今後も歩み寄った話し合いを期待しています。	今後とも皆様のご意見を頂戴しながら進めていきたいと思っております。

説明会后のご意見と病院の考え

項	ご意見等	回答（病院の考え）
1	青梅市は、健康センターでの人間ドックを設備の老朽化で中止することから、他市の施設を利用せざるを得ません。拠点病院として、市民でありながら人間ドックが受けられない不便さを解消していただきたい。	人間ドックについて、当院では平成18年より実施しておりません。青梅市の指定する人間ドックの医療機関があり、一部の助成制度もありますので、ご理解願います。
2	私たちは青梅市立総合病院にお世話になるために、練馬から転居してきました。現在南側に住んでいますが、南側からの出入口は無くなってしまったのでしょうか？それだけ心配なのでお返事ください。	新病院の配置計画では、南側はサービス車両の出入口を計画しており、搬入業者等が出入りを頻繁に行います。このため、来院者の安全を考慮して東側または北側道路からの動線計画としておりますので、ご理解願います。
3	①仮設棟の階数と高さは。 ②病室の南側は全部個室として使用するのか。 ③駐車場に車椅子を設置しないのか。	①仮設棟は、プレハブ造2階建て、高さ約7.9m程度を予定しています。 ②病室の南側は、原則として個室を配置します。 ③正面玄関の近くに車椅子を用意します。
4	ヘリコプターの飛来回数は、現状ではもっとあると思う。災害時には、さらに来るため、中型、大型等の気流や音（騒音）を、もっと広範囲に調査が必要となるのではないかと？	ヘリコプターの飛来回数は、平成29年度で16件となっています。災害時を想定した検証については、東京消防庁等から資料を入手して再度検討します。
5	敷地南側道路屈曲部の交差点が、病院建物の影になり凍結する恐れがある。新南棟を北側に移動することは可能か。	新南棟は、建設にあたり無駄のない配置を考慮し、運営している東西棟などの建物と最小限の間隔を保って設計しています。このため北側へ移動することはできません。 なお、道路の凍結の状況については、今後調査し、対応策を検討します。
6	南側道路が病院の裏側になるので、北側のみでなく南側も美しく整備してほしい。	敷地全体の景観に配慮して整備します。
7	南側来院者の駐車場出入口が見通しが悪く危険なため、配慮してほしい。	建替計画では、南側に来院者駐車場の出入口を予定していません。サービス車両が出入りしますが、高い木を少なくし、見通しが良い植栽計画として安全に配慮します。
8	西側のヘリコプターのホバリング時の騒音について、詳細を調査してほしい。次回説明会でお願いしたい。	ヘリコプターの騒音については、再度詳細な調査を行い、ご説明します。